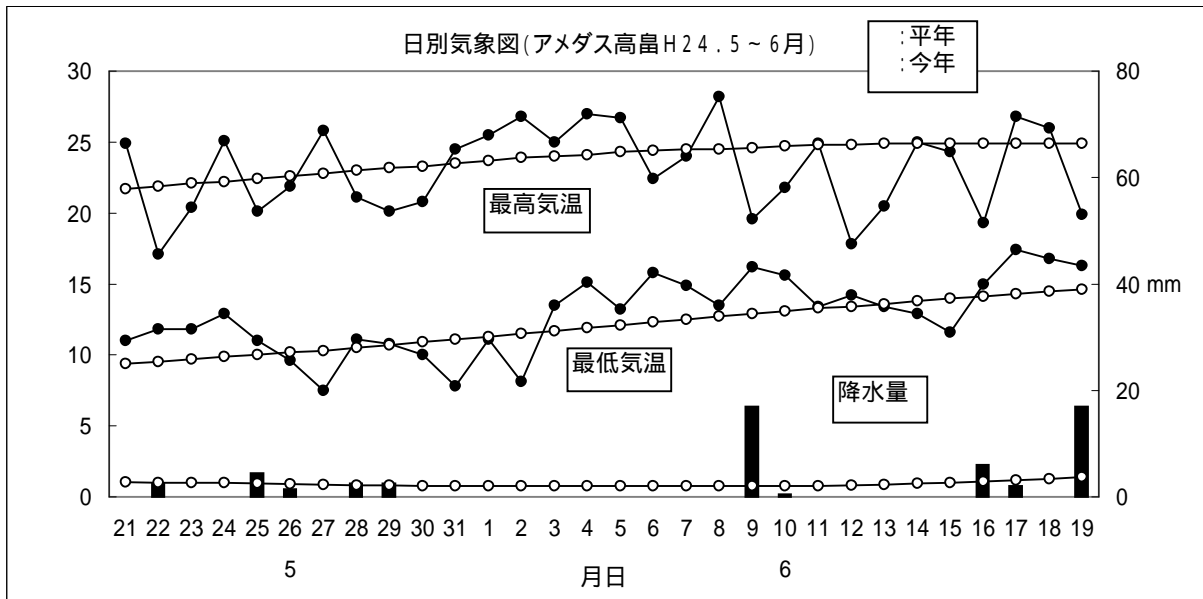


茎数がやや少ない状況です。浅水管理で分けつの発生を促しましょう。
 土壤還元(ワキ)が見え始めました。水交換や一時的な落水管理で対応しましょう。

田植え後の気象経過



生育概況(普及課生育診断ほ6月20日現在)

平坦部 (川西町)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	
はえぬき	本年	31.9	402	7.2	41.5
	前年	31.5	373	7.5	37.5
	平年	32.8	425	7.5	40.1
	平年比・差	97%	95%	-0.3	1.4

平坦部 (飯豊町)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	
はえぬき	本年	31.6	411	7.4	42.1
	前年	31.0	504	8.1	42.6
	平年	35.9	518	8.5	41.9
	平年比・差	88%	79%	-1.1	0.2

平坦部 (川西町)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	
つや姫	本年	31.8	405	6.9	39.7
	前年	31.8	294	7.3	39.4
	平年	33.0	351	7.3	39.4
	平年比・差	96%	115%	-0.4	0.3

平坦部 (飯豊町)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	
つや姫	本年	31.0	394	6.8	38.3
	前年	30.3	430	7.5	38.5
	平年	35.4	452	8.0	39.3
	平年比・差	88%	85%	-1.2	-1.0

【概況】

田植え後は最低気温が高く、順調に活着したと見られます。6月に入ってから最高気温・最低気温とも高めに経過しましたが、梅雨入りとなった6月9日以降は最高気温がやや低く経過しています。

6月20日現在の生育は「草丈:平年並み~やや短い」「茎数:やや少ない」「葉数:平年より1~2日遅い」「葉色:平年並み」と見られます。田植えの時期や圃場によっては茎数の確保が遅れている所もあります。茎数確保のため「保温的水管理」を継続するとともに、茎数の確保がなされた後は速やかに「中干し」を行いましょう。

当面の対策

(1) 水管理による茎数の確保

茎数の少ない圃場では、目標とする茎数を確保するため2～3cmの浅水管理を徹底しましょう。

また土壌の還元化が進んでいる圃場では、水交換や一時的な落水管理で対応しましょう。

昨年は、ワキにより、生育・茎数確保が遅れ、収量にまで影響が及びました！！

(2) 作溝・中干しを徹底し生育を調節する【表 品種別の目標茎数の目安】

目標とする茎数を確保したら、すみやかに落水して作溝・中干しを行いましょ

う。中干しは、小ひびが入る程度を目安とします。

品 種	目標とする1株あたりの茎数	
	70株植/坪	80株植/坪
はえぬき	22～24本	19～21本
つや姫	19～21本	17～19本
コシヒカリ	19～21本	17～19本

(3) 葉いもちの早期発見・早期防除

まだ補植苗が残っている圃場がみられます。

早急に処分するとともに、圃場を巡回し、葉いもちの早期発見・早期防除につとめましょう。



葉いもち病斑

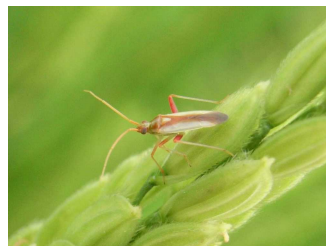
(4) カメムシ防除のため、雑草地・農道・畦畔の草刈りを徹底しましょう。

地域をあげて畦畔や農道、雑草地などの草刈りを徹底して、カメムシの繁殖源を無くしましょう。

アカヒゲホソミドリカスミカメは、ノビエやエノコログサ、メヒシバ等のイネ科雑草を好みます。これらイネ科雑草の多いところは特に草刈りを徹底しましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ
体長5～6ミリ



アカシカスミカメ
体長5～6ミリ



オトゲシロホシカメムシ
体長5～7ミリ

(5) 残草対策

一部、雑草が残っている圃場が見られます。

残っている雑草の種類を確認し、その雑草に効果の高い除草剤を使用しましょう。

農薬はラベルをよく読み適正に使用するとともに、隣接地や周辺作物に飛散しないように十分留意しましょう。

より安全・安心な農産物を生産するために確実に栽培記録簿を記帳し、GAPチェックシートを記入し、自己点検に努めましょう。